

事業報告書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

特定非営利活動法人支えてネットワーク

事業概要

実態が見えづらい「ひきこもり」。内閣府の調査では、100人に1.5人の割合と言われ、その半数は40歳以上。ひきこもり期間の長期化や、高年齢化が指摘されている。

最近では、個人や世帯が抱える生きづらさが複雑化、多様化しており、複合的な課題を抱える人も多いとされている。又、いったん社会のルールから外れてしまうと、適切なサポートにつながれないまま、制度の狭間におかれてしまうという現状もあり、「8050問題」など社会問題としても深刻化している。

当法人では、これまでの関わりかの中から、ひきこもる本人と一緒に、家族も苦しみ、共に孤立している状況が起こっていると感じている。どこにも相談できずに孤立している、そんな人達を家族ごと支える仕組みが必要だと考え、必要な事業を実施した。

具体的な実施状況

1) 相談支援プログラム

ひきこもりからの回復のきっかけがつかめず、困っている人たちに対し、ひきこもり状態から抜け出すためのきっかけや入口として、電話・来所による相談を開所日であれば常時受け付けている。

また、山口市と防府市とひきこもりサポーター派遣事業を委託契約し、2件の訪問サポートを実施するとともに、毎年行っているひきこもりサポート事業の研修会（公開講座）は、今年も山口市社会福祉協議会からの委託事業として実施した。

(1) 相談支援活動

①訪問サポートの実施

対象者：2名（山口市・防府市サポーター派遣事業）

訪問回数：27回(延べ)

訪問サポーター登録者：10名

②相談業務（電話、来所、出張）

相談者数（実）：

属性	人数
新規	29
継続利用者	12
関係機関	16
不明・匿名	3
合計	60

相談件数（延べ）：

種別	回数
電話	35
来所・出張	59
メール	18
合計	112

③なごみの風研究会（ケース検討など）

開催回数：年間／12回

参加者数：73名（延べ）

(2) ひきこもりサポート事業

日時：8月25日（日）13:30～15:00

会場：山口市小郡ふれあいセンター

内容：演題「安心できる居場所づくり」

講師：山口学芸大学 御旅屋 達氏

対象：ひきこもりの家族、ひきこもり支援に関わる支援者

参加者：約70名



(3) 家族塾

これまで家族の集いとして、家族同士の交流などの場をもうけていたが、今年度は家族塾として、家族として本人にどう関わればいいのか、これからの生活設計をどう考えればいいのかなどをテーマにした学びの場をもつことにし、実施した。



	日時	内容	参加者
1回目	5月11日（土）	ひきこもりの理解（本人の生きにくさ、行動の背景の理解など） ひきこもり体験者との情報交換	13名
2回目	8月25日（日）	安心できる居場所づくり ※公開講座として開催	70名
3回目	11月9日（土）	良い関係の築くためのコミュニケーション	14名
4回目	2月15日（土）	親亡き後も見据えた生活設計	26名

(4) 外部研修及び会議の参加

<講師派遣>

月 日	研 修 名	主 催	場 所	人 数
7/26 (金)	令和元年度人権教育指導者養成講座	萩市教育委員会	萩市	191名
10/17 (木)	事業所見学	山口県立防府総合支援学校	和の家	2名
10/17 (木)	令和元年度ひきこもり支援者研修	山口県精神保健福祉センター	山口市	29名
11/12 (火)	視察研修	佐賀地区福祉の輪づくり運動推進委員会	和の家	22名
1/22 (水)	令和元年度ひきこもり家族教室	山口健康福祉センター	防府市	約10名
1/17 (金)	令和元年度ひきこもり支援者研修	山口県精神保健福祉センター	柳井市	約30名

<研修及び会議の参加>

月 日	研 修 名	主 催	場 所	参加者
5/7 (火)	平成31年度精神保健福祉関係者基礎研修	山口県精神保健福祉センター	山口市	1名
5/27 (月)	組織を成長に導く理事と理事会のあり方	防府市市民活動支援センター、やまぐち県民活動支援センター	防府市	1名
8/27 (火) 9/3 (火)	人や組織を動かす調べる力	一般社団法人 SANY	山口市	1名
9/17 (火)	人や組織を動かす調べる力 自主勉強会	一般社団法人 SANY	山口市	1名
9/13 (金)	令和元年度山口県若者自立支援ネットワーク会議	山口県商工労働部労働政策課	山口市	1名
9/21 (土) ・22 (日)	令和元年！パワーアップセミナー in 山口湯田温泉	日本コーチ協会山口チャプター・心とからだのパワーアップ実行委員会	山口市	4名
11/19 (火)	令和元年度食品表示責任者養成講習会	山口食品衛生協会	山口市	1名
11/25 (月)	第46回「明日の障害福祉を考える会」	明日の障害福祉を考える会	山口市	1名
11/29 (金)	令和元年度ひきこもり実務者研修プログラム	山口県精神保健福祉センター	山口市	3名
11/30 (土)	ひきこもりを考えるフォーラム～幅広い年齢層へ幅広い支援を～	山口県	山口市	5名
1/26 (日)	2019年度山口県精神保健福祉士協会第2回研修会	山口県精神保健福祉士協会	山口市	1名
2/2 (日)	おしゃべりカフェ特別企画 自己を整え 人生を豊かにする心の在り方	たの SEA 秋穂づくり協議会	山口市	2名
2/22 (土)	第3回ひきこもり支援フォーラム 第8回ふらっとフォーラム	特定非営利活動法人ふらっとフォーラム	山口市	1名

2) 居場所づくりプログラム

生活リズムを整える目的や、次へのステップへの休養や体力作りなど、居場所機能としての和の家。様々な社会体験やレクリエーションなどを通じ、家族以外との関係づくりとして、スタッフや仲間との交流などを体験できる場としている。

今年度は、全体69%にあたる18名が、居場所の継続利用、作業所・デイケアへの移行、就労（アルバイト含む）など、ひきこもり状態から本人なりの社会参加を実現した。

(1) 開設日

開設日 年間／209日（月・火・水・木・土曜日／週、第1日曜日／月）

(2) 利用者数

	利用者登録	利用者数 (延べ)	備考
一般	8	215	
障がい者デイサービス (日中一時支援事業)	18	428	
その他	—	147	家族・関係者
合計	26	790	

スタッフ数：有給509人（延べ）、無給（ボランティア含む）274人（延べ）

(3) 利用者の状況

性別

属性	人数
男性	23
女性	3
合計	26

年代

属性	人数
10～20代	5
30代	5
40代	10
50代以上	6
合計	26

令和元年度利用者の変化

属性	人数
居場所利用継続	4
作業所・デイケアへの移行	7
就労（アルバイト含む）	7
中断、不明	8
合計	26

→全体69%にあたる18名が、居場所の継続利用、作業所・デイケアへの移行、就労（アルバイト含む）など、ひきこもり状態から脱して本人なりの社会参加を実現した。

(4) 内容

① 集団プログラム

<外出クラブ>

利用者との話し合いで外出先を決めながら、山口市内外に出かけており、それぞれの活動を楽しむことが出来た。

開催回数：年間／13回 参加者数：89名（延べ）



<美祢市への外出>



<みかん狩り>

<料理の日>

メニューの決定から材料の買い出し、調理や後片付けなど、利用者で協力して行い、季節のメニューなども取り入れ、みんなとの食事会を楽しんだ。

開催回数：年間／7回 参加者数：58名（延べ）



<サンドイッチ作り>



<バーベキュー>

<ボランティアの日>

毎月1回、和の家周辺の道路沿いなど、地域でのゴミ拾いを実施している。社会奉仕活動の意識を育み、協力しながら作業することの大切さなどを経験できた。

開催回数：年間／7回 参加者数：14名（延べ）

<利用者会議>

翌月の行事日程と内容などについて、話し合いをもって決定しており、雑談や情報交換など利用者同士の交流の時間にもなっている。

② レディースデイ

女性限定の日として、利用者やお母さん、ボランティアスタッフなどが参加している。ランチづくりや女性ならではのプログラムを実施し、毎回ストレス発散の場と言いながら参加されている方もいる。

開催回数：年間／9回（毎月第1日曜日10：00～）

参加者数：63名（延べ）



<メイクレッスン>



<初詣で>

③ 年間イベント

ボランティアグループが中心となり、実行委員会を募り、主な年間行事の企画、運営などを行っている。

<花見>

開催日：4月6日（土）

場 所：草山公園

参加者数：18名



<なごみフェスタ>

毎年地域の方々に当法人のことを知ってもらうことを目的に開催している。利用者やボランティアを中心に前日から準備を行い、当日も各コーナーの運営や片付けなどを行った。近隣の方々の来場もあり、やぎのふれあいコーナーやミニコンサート、地域からうどんの出店など、多くの人達に支えられての楽しい1日を過ごすことができた。

開催日：10月27日（日）

参加者数：120名



<ミニコンサート>



<キッズコーナー>



<ヤギも遊びに来ました>



<友愛セールやチャリティコーナー>

<クリスマス会>

毎年、ボランティアや家族などをお招きして、利用者と共に交流を楽しんでいる。今年も参加者全員で協力してのランチづくり、紙芝居やゲームなど楽しい時間を過ごすことができた。

開催日：12月21日（土）

参加者数：18名

内 容：炊き込みご飯と豚汁のランチ、ミニコンサートや紙芝居、ゲームや茶話会



<炊き込みご飯と豚汁のランチ>



<紙芝居>

3) 就労支援プログラム

就労を希望する人達にとって、安心して就労体験のできる場、体力作りや人間関係の広がり、人付き合いの練習ができる場である。

農作業などの実際の作業を体験するとともに、定期的にSST（社会生活技能訓練）を取り入れ、実際の場面を想定して人との会話を練習し、利用者とのやりとりなどで実践し、振り返りにつなげていくこともできていた。

<事業内容>

① ヤギ当番

防府市の「株式会社山本工業」の協力で、メガソーラーで除草のため放牧しているヤギの健康チェックの依頼を受け、週3回ヤギの健康状態に異常がないかチェックしている。草だけでは栄養が不足するためエサや水を与え、ソーラーパネルにヤギが上がっていないかの確認作業を行った。動物が相手で癒される部分もあるが、命を預かることでもあり責任を感じる作業であった。

作業日：月・木・土／週（4月～10月）

作業日数：年間／74日

参加者数：194人（延べ）



② 農作業（うり作業含）

和の家に隣接する畑を活用し、季節ごとの野菜を栽培する農作業を行っている。また、岩国市の有限会社みかわの依頼で、奈良漬けに使ううりの栽培も行っており、植え付けから収穫、箱詰め出荷作業を行った。今年度から冬場の作業として、山口市の農事組合法人 川西の協力で、はなっこりーの栽培に挑戦した。

作業日：適宜／年

作業日数：年間／92日

参加者数：463人（延べ）



③ リサイクル

作業日：適宜

作業日数：年間／17日

参加者：35人（延べ）

④ その他（環境整備、室内作業など）

作業日：適宜

作業日数：年間／31日

参加者：134人（延べ）

⑤ SST（ソーシャルスキルズトレーニング）

就労に向けての対人関係や集団行動を上手に営んでいくために、テーマを設けて実際の場面を想定した会話練習などを行った。

実施日：第4土曜日

実施日数：年間／6日

参加者数：38人（延べ）



⑥ 配食サービス事業

秋穂地区内の高齢の一人暮らしのご家庭などに、お弁当を配達する配食サービス事業「ほほえみランチ」において、指示を受けての盛り付けや片付け、職場でのコミュニケーションなどを実際の作業を通して学んだ。

実施日：火・木曜日

実施日数：年間／109日

参加者数：52人（延べ）



4) その他

今年度はひきこもりの実態をより把握するために、関係機関の他に、ケアマネジャーへの調査を実施した。また、昨年度の山口市市民活動支援センターさぼらんての円卓会議をきっかけに構築された、関係機関とのネットワークがスタートした。

そして、広報活動の中で、居場所などの利用につながっていなかったり、家族相談のみの段階の方にアプローチできるよう、メールマガジンでの情報発信を継続している。

(1) 関係機関、団体との連携

①山口市ひきこもり支援者ネットワーク

日付	内容
5月21日(火)	今年度の事業計画、規約について 事業紹介：認定NPO法人 支えてねネットワーク
7月23日(火)	事業紹介 パーソナル・サポートセンターやまぐち 事例検討
8月25日(日) 構成団体の他に、県内の健康福祉センター職員も対象として実施	山口学芸大学 御旅屋 達 先生から話題提供 ひきこもりの居場所には、どのような在り方があるのか 事例紹介 グループワーク 居場所に必要な要素 居場所になると思われる場のアイディア出し
11月26日(火)	事業紹介：NPO法人ドリームファクトリー、カケルタス
1月28日(火)	事業紹介：山口市障がい福祉課、山口健康福祉センター
3月17日(火) ※新型コロナウイルス対応で中止	ひきこもり実態調査の報告(支えてねネットワーク) 次年度の事業計画について

構成団体：

- ・NPO法人ドリームファクトリー
- ・小郡まきはら病院
- ・カケルタス
- ・パーソナル・サポートセンターやまぐち
- ・ブルーライトやまぐち
- ・山口健康福祉センター
- ・山口県健康増進課
- ・山口市社会福祉協議会
- ・山口県福祉総合相談支援センター 精神保健福祉部
- ・山口市障がい福祉課・地域福祉課
- ・認定NPO法人支えてねネットワーク

②実態把握に向けた調査実施

対象：山口市内の居宅介護支援事業所、地域包括支援センター 計65か所

内容：ケアマネジャーが関わりのある世帯で把握しているひきこもりについて調査を実施した。

対象：行政や医療機関、就労支援機関など 計11か所

内容：ひきこもりの人がどういった機関に相談にいらっているかを調査した。

③ その他の団体・企業との連携

団体名	内 容
たのSEA秋穂づくり協議会	秋穂ふれあいまつり あいお祭り参加
吉南病院	文化祭参加
山口市市民活動支援センター「さぼらんて」	運営相談、指導など
KHJ山口県きらら会	山口市駅伝参加など
株式会社山本工業（防府市）	就労支援協力
有限会社みかわ（岩国市）	就労支援協力
農事組合法人 川西（山口市）	就労支援協力
有限会社いしだクリーニング（山口市）	就労支援協力
ブルーライトやまぐち	発達障害啓発週間のイベント協力 など ※新型コロナ対応で中止

(3) 広報活動

- ・和の家通信発行 年間／3回（3,000部）
- ・ホームページ Facebook での情報発信
- ・メールマガジンでの情報発信 年間／22回
- ・チラシやパンフレットの作成・配布

(4) 理事会の開催

年間／5回（5月7日、10月1日、12月10日、1月28日、3月17日）

(5) ファンドレイジング

① 「支え人。」プロジェクト

- ・有限会社 寿司やす 様 「寄り添う心プロジェクト」
- ・ヨガルーム ブーゲン華 様 「笑顔の繋がりプロジェクト」



<3/25 寄付金贈呈式 有限会社寿司やす様>

② 寄附付き自動販売機

寄附付き自動販売機を個人・協力企業に設置してもらっている。

- ・道中 寿男 様
- ・(株) あいお 様
- ・(株) 山本工業 様

③ 助成金の申請など

- ・赤い羽根共同募金助成金 ～ 2,000,000 円
「ひきこもり社会復帰応援事業」
- ・JT NPO助成事業 ～ 1,500,000 円
- ・秋穂地区社会福祉協議会
「福祉活動助成金」 ～ 250,000 円
- ・(株)セールスフォースドットコム ～ ソフトウェア使用
- ・ファイザープログラム ～ 不採択
- ・WAM助成〈モデル事業助成〉 ～ 不採択

④ うりうり募金プロジェクト

瓜を育てて地域も育てる仕組み作りを目指し、「うりうり募金プロジェクト」を今年度も実施した。協力の呼び掛けに対し、6名の生産者の協力を得て1.3tのうりの募金を受けた。今年は天候の影響もあり病気が発生し、みかわさんへの出荷は8日間と短く、残念だった。

協力生産者：6名

出荷（募金）量：1.3t

約93,071円相当の支援があった。



⑤ 配食サービス事業

秋穂地区内の高齢の一人暮らしのご家庭などに、お弁当を配達する配食サービス事業「ほほえみランチ」を、山口市社会福祉協議会秋穂出張所から引き継ぎ、4月からスタートした。

実施日：火・木曜日

実施日数：年間／109日

人数：配食利用者2015人（延べ）

